

あま市スポーツ推進計画策定に係る団体ヒアリング報告書

1 概要

あま市スポーツ推進計画策定にあたり、スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、地域の実態を把握する必要があるとあり、地域においてスポーツ分野で活躍されている団体から今後のスポーツ推進についての意見をいただき、参考とする。

2 対象団体

- ・あま市レクリエーション指導者クラブ
- ・ルネサンス甚目寺
- ・あま市身体障害者福祉協会
- ・豊田合成株式会社

3 ヒアリング結果

(1) あま市レクリエーション指導者クラブ

実施日時：令和4年8月9日（火）午後1時から午後2時まで

対象者：会長

テーマ	内容
1 東京オリンピック・パラリンピック開催決定（平成25年9月8日）以降の参加者の推移について	<p>○コロナ禍では、活動回数を減らしていた。</p> <p>○月に1回開催している講座の「あまっ子あそび創造塾」の会員数は12人から24人まで増加した。</p> <p>○イベントでは、会員以外も参加している。</p>
2 健康づくりやスポーツ・運動に関心がない方へのきっかけづくりについて	<p>○毎月、ノルディックウォーキングを行い、健康増進のきっかけづくりをしている。</p> <p>○モルック体験会（ニュースポーツ）も開催をしている。</p> <p>○市民活動センターのセンターニュースに掲載し、クラブ活動の周知をしている。</p>
3 レクリエーションに参加している人の意識、実施状況、課題について	<p>○月2回の定期活動に加え、月2,3回の不定期活動を行っている。</p> <p>○体験会を通して、スポーツ団体に加入した子どもがこれまで何人もいる。</p>
4 レクリエーション等を普及する立場の現状、課題、今後の展開について	<p>○指導者の登録者数は30人いる。しかし、40代の若い人が一人いるのみで、他の指導者は70歳前後の人ばかり。</p> <p>○若手の指導者の育成や人材不足が大きな課題。</p> <p>○指導者は子どもから元気もらい、活動がいきがいとなっている。</p> <p>○市民活動センターに登録している団体はたくさんあるので、ネットワークを作って、横のつながりを持たせたい。</p>

	<p>○フライングディスクや竹馬等、あまり利用されていない備品があるので、共有してうまく利用したい。</p> <p>○ラダーゲッターは実際にやれる環境があるのに、審判等がおらず、競技として行えていない。</p> <p>○現状、イベントや講座に託児所を設けることができていない。本来ならば、障がい者のために手話通訳者も来ていただきたいと思っているが、金銭面で難しい。</p> <p>○子どもにやりたい種目を聞いて、次年度の行事に反映させている。</p> <p>○ひまわり作業所の高齢者の方と、フライングディスクを行っている。</p>
5 市への要望・意見等	<p>○市の公共施設は、当日に予約が空いていたとしても1週間前までに予約をしないと利用できないので、予約が空いている場合は当日であっても利用させてほしい。</p> <p>○若者向けのスポーツ教室だけでなく、高齢者のいきがいとなるコミュニケーションスポーツ（話をしながら体を動かす場）の実施を検討してほしい。</p>

(2) ルネサンス甚目寺

実施日時：令和4年8月10日（水）午後3時から午後3時30分まで

対象者：支配人

テーマ	内容
1 東京オリンピック・パラリンピック開催決定（平成25年9月8日）以降の利用者の推移について	<p>○コロナウイルスが広がる2019年までは利用者は順調に増えていた。しかし、それ以降はコロナウイルスの影響でかなり利用者が減った。特にご年配の方がその傾向が顕著であった。</p> <p>また、法人会員も減った。現在は退会や休会される方は減っている。</p>
2 利用者のスポーツ・運動への意識について	<p>○スタジオレッスンを主としてやっている方は習慣化されており、退会が少ない傾向にある。</p> <p>○本来であれば、オリンピックを契機に、スポーツ・運動の盛り上がりを期待していたが、コロナウイルス感染症拡大の時にオリンピックが開催されたため、オリンピックの効果はあまり感じられなかった。</p> <p>○会員数の内訳は、半数が未成年で、もう半数が成人となっている。また、成人のうち約3分の1が60歳以上の方となっている。</p> <p>○30、40代は男性よりも女性の利用者の割合の方が多い。</p>

	○朝の方が夜に比べて利用者が多く、約20人から30人が早朝の仕事に行く前に来館される傾向にある。
3 行政、学校、関係団体等との連携・協働等について	○近隣自治体から夏休み水泳事業の話があり、請け負っている。 ○他県自治体でバスケットボールの部活動の指導者派遣を行っている。
4 中学校部活動の地域移行について	○プレイリーダー等の幅広い種類の資格を持っているスタッフもいる。 ○講師派遣できる種目は、水泳、空手、チアリーディング、ダンス、テニスがある。 ○派遣できる講師はエリアで決まっており、あま市内の小中学校に講師派遣をしようと思うとルネサンス甚目寺からの派遣となる。現状、他の店舗からは派遣できないが、他のエリアでもこういった動きがあるので、今後はできるようになる可能性がある。
5 市への要望・意見等	○今後も更に行政との連携を図っていきたい。事業連携や提案・依頼のお話がいただけるとありがたい。

(3) あま市身体障害者福祉協会

実施日時：令和4年8月23日（火）午前9時30分から午前10時30分まで

対象者：会長、副会長

テーマ	内容
1 東京オリンピック・パラリンピック開催決定（平成25年9月8日）以降の会員の推移について	○オリンピック・パラリンピック前後で会員数に特別な変化はなかった。会員数に関しては、高齢化による減少が大きい。
2 障がい者のスポーツへの意識、実施状況、課題について	○最近は交通事故など、後天的な障がい者の方が増えてきており、そのような方々が障がいと向き合って、仲間をつかって生きていくためにスポーツは有効。 ○健常者と一緒にスポーツを行うと、引け目を感じてしまうことがあるため、障がい者だけで気軽に実施できる機会が必要。 ○パラリンピックに合わせてボッチャを実施したが、場所や準備の問題で長続きしなかった（2回ほどで終了）。
3 障がい者スポーツを支える立場の現状、課題、今後の展開について	○適切な実施場所の確保が難しい。利用する施設に備品を預けることができず、エレベーターがない等の理由から実施が難しくなっている。 ○障がい者の負担を減らすため、ボール拾いなどでボランティアの方々と協力できるとよい。

	<p>○移動手段の確保が難しく、移動の問題で参加できなくなっている方が多い（特に県外の大会など）。運転ができる方も高齢化で減りつつある。</p> <p>○今後は身近でできる企画を実施していきたい。あまスポーツクラブなどへの参加も考えたが、一般参加者の方と一緒に実施するのは困難と思い、断念した。</p> <p>○若年層の参加が少なく、若年者への周知方法が課題。</p>
4 市への要望・意見等	<p>○障がいの方が最初にアクセスする窓口が社会福祉課となるため、更なる協力が必要。</p> <p>○甚目寺総合体育館や七宝総合体育館に常用のエレベーターがなく、移動が非常に困難。甚目寺総合体育館は施設面では利用しやすいが、予約の空きが少ない。簡単・自由に使える施設がほしい。</p> <p>○甚目寺総合体育館のトレーニングジムは入室しやすく便利だが、障がい者に対応しているのかわかりにくい。</p>

(4) 豊田合成株式会社

実施日時：令和4年8月24日（水）午前10時から午前11時まで

対象者：

テーマ	内容
1 東京オリンピック・パラリンピック開催決定（平成25年9月8日）以降の競技者または観戦者の推移について	<p>○オリンピックでスポーツに対する注目度が増したり、より身近になったりしたことで自社の活動も活発化したと感じている。</p> <p>○弊社が運営する各種スポーツ大会では、観戦者は増加しているように感じる。自社アリーナでは、ハンドボールで2,000人動員することができた。</p>
2 スポーツ参画人口の拡大について	<p>○コロナ禍での観戦制限などもあり、観戦者数が減っていたが、最近は制限緩和で徐々に増えてきている。</p> <p>○コロナ禍でバスケットボールを行う児童が減っているように感じる。コロナ禍世代でスポーツ人口に空洞が出来てしまうのではないかと不安。</p>
3 トップスポーツチームと連携したスポーツの魅力発信、交流機会の創出について	<p>○弊社の支援しているバレーボールチームでは、地域連携を目的として、稲沢市を中心とした小学校でのあいさつ運動などを実施しており、今後も活動を広げていきたい。</p> <p>○ハンドボールチームにおいても、稲沢市の小中学校で教室を実施している。</p> <p>○バスケットボールチームの場合、知的障がいを持つ社会人向けの活動を実施している。30人ほどが登録し、週1回15人ほどが参加している。稲沢市以外の自治体からも依頼</p>

	<p>があり、教室を開催している。</p> <p>○教える人が少ないなどの理由もあり、ハンドボール・バスケットボールに関しては十分な活動が行えていないのが現状。リーグの理念もあり、競技人口を増やすためにも地域交流は今後も行っていきたい。</p> <p>○弊社の社会貢献事業の一環として、バレーボールのコーチが稲沢市で高齢者向け体操教室を開催しており、あま市においても同様の教室を開催できる可能性がある。</p>
<p>4 中学校部活動の地域移行について</p>	<p>○部活動への講師派遣について社内で議論になったことはない。一社員が個人的に副業として講師活動を行っている場合はあるが、会社の事業として実施する予定は今のところない。</p> <p>○講師派遣の希望があるのであれば、OB会などに話を持ち掛けることはできるかもしれない。</p> <p>○中学の部活動の場合、平日は社員の就業時間と部活動の時間が重なってしまうため、実施は難しい。</p> <p>○指導者の責任がどこまで求められるのかについても不安が残る。</p> <p>○現役選手の引退後のセカンドキャリアとして情報提供することはできるかもしれないが、正式に斡旋することはできるかわからない。</p>
<p>5 市への要望・意見等</p>	<p>○甚目寺総合体育館について、選手と観客を入れる導線が1つしかないため、観客と選手が混ざってしまう。トップリーグの試合を招致、開催したいのであれば、レイアウトなどを変更した方がよいと思う。また、館内飲食ができないので、やや不便と感じる。</p> <p>○イベント開催にあたり、行政側に告知・広報の協力をしてもらえるとありがたい。</p>